

「愛知県・市町村人口問題対策検討会議」の立上げ・検討状況

2024年5月	<p>対策検討会議立上げ、第1回会議 (5/17) 委員11市町村、オブザーバー29市町村※ ※8月末時点34市町村</p> <p>⇒ ・「農林水産業の振興」、「地域交通の確保」、「空き家の活用」の3つを当面の検討議題とする。 ・それぞれワーキンググループ(WG)を設置し、具体的な検討を進める。</p>
6月	<p>第1回農林水産業振興WG (6/27) ⇒ ・農林水産業の担い手に関する現状・課題を共有。 ・県から政策アイデアを例示し、意見交換。</p> <p>第1回地域交通確保WG (6/28) ⇒ ・市町村が抱える地域公共交通の現状・課題を共有。 ・「地域の基幹となる交通を維持する方策」、「地域内の移動に使用される交通を持続可能なものとする方策」について議論を深めていく。</p> <p>第1回空き家活用WG (6/28) ⇒ ・空き家の活用における現状・課題を共有。 ・「空き家の改修等の支援」、「空き家の所有者と移住希望者のマッチング支援」、「特措法に基づく空き家の利活用の促進」について議論を深めていく。</p>
8月	<p>第2回農林水産業振興WG (9/4) ⇒ ・県の検討施策案について意見交換。 ・市町村の意見等を踏まえて、引き続き具体的な検討を進めていく。</p> <p>第2回地域交通確保WG (8/29) ⇒ ・「幹線軸の交通の維持・充実」、「地域内交通のモード最適化、交通空白地解消」、「担い手の確保」の3つの観点について、市町村と連携しながら更なる検討を進めていく。</p> <p>第2回空き家活用WG (8/30) ⇒ ・県の対策案について意見交換を行い、市町村の意見等を踏まえて、引き続き具体的な検討を進めていく。 ・市町村においても県内外の取組事例を参考に、対策を検討していく。</p>
9月～ 2025年1月	各WGにおいて、県と市町村が連携して取り組む対応策などについて検討し、次年度の実施に向けて関係機関との調整を進める。
2月	<p>第3回各WG (予定) ・活動報告 ・次年度取組共有</p>
3月	<p>第2回対策検討会議 (予定) ・WG活動報告 ・次年度取組共有</p>

愛知県・市町村人口問題対策検討会議 構成員（順不同）

愛知県	会長	知事
	副会長	江口副知事
	委員	政策企画局長、総務局長、農業水産局長、農林基盤局長、都市・交通局長、建築局長、東三河総局長、新城設楽振興事務所長、尾張県民事務所長、海部県民事務所長、知多県民事務所長、西三河県民事務所長
市町村 (45)	委員 (11)	岡崎市長、豊田市長、西尾市長、新城市長、田原市長、愛西市長、南知多町長、美浜町長、設楽町長、東栄町長、豊根村長
	オブザーバー (34)	瀬戸市長、半田市長、津島市長、碧南市長、刈谷市長、安城市長、蒲郡市長、犬山市長、常滑市長、江南市長、小牧市長、稲沢市長、東海市長、大府市長、知多市長、知立市長、尾張旭市長、高浜市長、豊明市長、清須市長、弥富市長、みよし市長、あま市長、長久手市長、東郷町長、豊山町長、扶桑町長、大治町長、蟹江町長、飛島村長、阿久比町長、東浦町長、武豊町長、幸田町長

各WGの参画市町村一覧

農林水産業振興WG 計 26 市町村	<p><委員> 岡崎市、豊田市、西尾市、新城市、田原市、愛西市、南知多町、美浜町、設楽町、東栄町、豊根村</p> <p><オブザーバー> 半田市、刈谷市、安城市、蒲郡市、常滑市、東海市、知多市、知立市、高浜市、豊明市、東郷町、阿久比町、東浦町、武豊町、幸田町</p>
地域交通確保WG 計 33 市町村	<p><委員> 岡崎市、豊田市、西尾市、新城市、田原市、愛西市、南知多町、美浜町、設楽町、東栄町、豊根村</p> <p><オブザーバー> 半田市、津島市、刈谷市、安城市、蒲郡市、常滑市、小牧市、東海市、大府市、知多市、知立市、高浜市、清須市、あま市、東郷町、豊山町、大治町、蟹江町、阿久比町、東浦町、武豊町、幸田町</p>
空き家活用WG 計 31 市町村	<p><委員> 岡崎市、豊田市、西尾市、新城市、田原市、愛西市、南知多町、美浜町、設楽町、東栄町、豊根村</p> <p><オブザーバー> 半田市、刈谷市、安城市、蒲郡市、常滑市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、高浜市、みよし市、あま市、大治町、飛島村、阿久比町、東浦町、武豊町、幸田町</p>